

SCHOOL LIFE 6月

第1回集合学習(鶴荘学園にて)

6月2日(金), 鶴荘学園(元荘中学校)にて, 本年度第1回目の集合学習を実施しました。52人での合同音楽や, 合同体育, そして普段とは違う大人数でのクラスでの授業に少し緊張しつつも, グループ活動などを通して, 徐々に打ち解け楽しむことができましたようです。そして, 成長したな~と感じたのは, 生徒の課題に対する向き合い方です。グループでの話し合いでは, みんなが理解できるように, ホワイトボードを使って説明したり, それを聞きながら質問をしたり, また体育では, 大縄を跳ぶために, 一人が観察し, 出てきた問題点をみんなであーでもない, こーでもない話し合ったりと, 「しっかり考えて」「協力して」「解決しようとする」姿が見られました。

生徒の感想

今年の集合学習の授業では, ペアやグループをつかって話し合いをする活動が多かったので, 鶴荘学園の人たちとの仲が昨年より深まった気がしました。

体育では大縄飛びをしましたが, どこをどうしたらよいか, ここは良かったなど互いに褒め合い, そしてターナーをかえてやってみたら, 5回から最高18回までのび約3倍になりました。次の集合学習も楽しみです。

9年生の3人と一緒に大縄をしたことが良かったです。鶴荘学園生徒会長さんが最後のあいさつで言っていたのですが, 今までは競い合っていたけど, 今回は協力して活動できたので良かったです。9年生の3人とは今年で出会って7年目です。9月の最後の集合学習も楽しみです。



文芸サークル【ハッピー☆クローバー】「絵本の読み聞かせ」

8日(木)、文芸サークル【ハッピー☆クローバー】による「絵本の読み聞かせ」を朝読書の時間に行いました。題材は「ぐりとぐら」「いのちのはな」「とんでもない」の3つです。それぞれ、登場人物ごとに声色や抑揚を工夫して読んでいて、とても聞きやすかったです。中学生ともなると中々絵本を読む機会もありますが、小さい頃読んだ懐かしいものや、深いメッセージが込められたものを選んであり、改めて絵本の魅力を確認することができたのではと思います。



CSとして→棚田での米作り

● 6月5日代かき：山鹿政文、井手上正弘、竹内明夫、町田誠二さん

「代かき」とは、「田植えの前に田に水を入れて薬を散布したり、土を砕いてかきながら作業」のことです。これらの作業が肥料を混ぜ込み、苗を植えやすくし、発育を良くする大きな効果があります。棚田に移動し、改めて棚田の風景のすばらしさを感じながら田んぼに入り、なんと5分も経つまでもなく、泥んこ遊び？が始まりました。

生徒の感想

今日は代かきがありました。始まって早々、泥だらけになりました。今までこんなに泥だらけになったことがなかったので、若干びっくりしましたが、思っていたより楽しかったです。泥を落とすのが大変で帰ってすぐお風呂に入りました。



ALTの先生も初めての経験に大興奮、大活躍？



● 6月9日田植え：山鹿政文、井手上正弘、竹内明夫、町田誠二、尾道睦雄
井手上幸麿、橋口進さん（保護者等15人参観）

「大川内小6年生8人も一緒に。継承していきます。大川内の知恵」

棚田での米づくりは2年目となりましたが、今年も地域の方々のご指導で実施できています。今回は、小学6年生も一緒に田植えを行い、小中合同での活動もできました。また保護者の方々にも多数ご参観いただき、とても充実したものとなりました。なかなか真っ直ぐ植えることは難しいのですが、3年生はさすがです。きれいに植えることができていました。そして、川釣りも楽しく行うことができました。これから、収穫の秋へ向けて、管理がとても大切になってきます。夏休みなど時間が取れるときは、草取りもしますが、私たちが常に管理を行うことは困難です。そんなときも地域の方々が田んぼを管理してくださっています。感謝の気持ちを忘れず、おいしいお米に育ちますように……。



生徒の感想

去年は転んでしまったけど、今年は転ばなくて良かったです。稲刈りが楽しみです。一つ一つ植えていく大変さを知ることができて、とてもよい機会になりました。ATで田植えがありました。稲を植える要領をすぐに思い出すことができて良かったです。ラストの田植えを楽しむことができました。稲の生長が楽しみです。小学6年生と今年からすることになりました。みんなで楽しく、初めての人には教えながらできたんじゃないかなあと思いました。

CSとして→2年技術分野（栽培）授業

13日（火）、学校運営協議会副委員長の田中智彰さんに、2年生の栽培の授業をしていただきました。昨年度に続き、2回目の授業でした。今回は、上場高原で経営されている茶業での実践例を交えてお話しをしていただき、生徒も興味・関心を持って真剣に聞いていました。栽培の工夫、苦勞や喜びから、職業観・人生観も学ぶことができました。



生徒の感想

技術で、田中さんが来てくださり、生物の育成についてお話ししてくださいました。お茶を育てるにあたって大切な肥料などのお話でした。とても笑顔でお話ししてくださいましたので、とても気持ちが伝わってきました。とても勉強になりました。今育てているオクラにもつなげていきたいです。

今日の1・2校時の技術で、学校運営協議会の方が畑について教えてくださいました。肥料をやる理由や土について教えてくださいました。そのあとはお茶をくださいました。とても勉強になりました。

親子読書リレー感想

● 2年「一生大切にしたい70の名言」

保護者／勉強や仕事に行き詰まったり落ち込んだりした時に読むと、もう少し頑張ってみようかなと思える名言が大人にも子どもにも分かりやすく書いてありました。またいつでも好きな時に好きなところから読めるので良かったです。今の息子にも感じて欲しい名言たくさんありました。

生徒／どの名言も身にしみてくる。これからはこの名言をかみしめながら生きていきたい。



棚田に手植え 出水・大川内小中生ら



棚田で田植えする子どもたち

＝出水市上大川内

出水市の大川内小学校と大川内中学校の児童生徒が10日、校区内

にある正現しょうげんの棚田で田植えを体験した。地域住民の指導のもと、

種まきから稲刈りまで一貫して取り組む。大川内地区は米作りが盛ん。正現の棚田は、石垣の階段のような田んぼ約3・5畝が山あいに広がる。田植えは井手上正弘さん(64)の2軒を借りて実施。子どもたちは横一列に広がり、手で丁寧な苗を植えた。

秋には収穫祭を開き、新米を地域住民と一緒に味わう。田植え体験のまとめ役となった中学3年の重信千優梨さん、今中星音あかねさんは「小学生も上手に植えてくれた。おいしいお米がたくさん収穫できるように、しっかり世話をしていきたい」と話した。(吉永亮治)

日本人の心のふるさと棚田で
大川内の米作りを引き継ぐ

CSとして→2年職業講話



22日(木)、コミュニティスクールの取組として、進路学習(職場体験事前学習)のための職業講話を校区在住の**牧香さん**にいただきました。牧さんは出水市地域おこし協力隊の里山活性化部門に在籍され、地域に定住し、「よそもの目線」で里山の良さを発信し、地域の人と一緒に盛上げていくという活動をされています。少子高齢化や都市部への人口集中による地方の過疎化

など、とても大きな社会問題ではありますが、身近なところでコツコツと使命感を持って頑張っている方のお話は、生徒の心にも大きく響いたのではないのでしょうか。またこれから社会に出る生徒に向けて次のようなお話をさせていただきました。

- 「好き」「嫌じゃない」を広げよう。
- まあまあをため込まない。
- 仲間を大切に
- 自分を知ろう。(楽しいこと・好きなこと・嫌なこと・絶対無理～なこと)

牧さんはもともと大学卒業後研究職を希望されていたそうです。しかしいろいろな事情が重なりJAで働くことになったそうですが、仕事内容が地域の人と一緒に、試行錯誤しながら特産物をつくったり、ブランド化したりというもので、最初はあまり乗り気ではなかったのに、だんだん楽しくなっていたそうです。その後も様々な経験を積み、自分を知り、「好き」「嫌じゃない」を広げていき、この出水市地域おこし協力隊の仕事に魅力を感じ、頑張っているとのことでした。今現在、将来やりたいことが決まっている生徒にとっても、まだ何をして良いか決まっていな生徒にとっても大きな道標となる講話でした。

生徒の感想

大切なことは自分を知ること、いろいろな経験をするということ教えてくださったので、これから自分が好きなこと、あまり好きでないこと、苦手なことなどを探して、いろんなことに挑戦してみたいと思いました。

今日、牧香さんが職業講話をさせていただきました。将来のことを色々考えなければならない時期に来ている私たちにとっても分かりやすい心に残る話でした。特に「友達を大切に」という言葉が心にのこりました。良い勉強になりました。

親子読書リレー感想

● 2年「やさしすぎるあなたが、少しずつ自分を出す練習」

保護者/この本を読んで自分を出すということは中学生にとっては少し難しいことなのでは…と私は思っていました。だって大人でも自分自身の意見を間違っていると思っても通してしまう人も多いです。まずは私たち親がお手本となってより良い中学生らし



い気持ちの出し方を練習させられるよう行動を見せていきたいと思います。お友達やまわりの人達、親との関わり方など、成長していく中で大変なことや悩むことなど難しいことだけど、その時その時の練習を積み重ねていって、優しい人だけでなく強い人になってほしいです。

生徒子／日常生活では感情もそれなりに出せていると思うけど、問題が起きたときや、ここぞという時にあまり感性を出せないときがあるのでそういう時にしっかり自分の意見を言えるようになりたい。

音楽科研究授業

26日に、音楽の研究授業を行いました。合唱「HEIWAの鐘」の「曲の山場を効果的に表現するためには、どのような工夫ができるだろうか」という学習課題を解決していくために、各パートで意見を出し合いながら「強弱」や「音色」などを工夫して仕上げていく授業でした。

秋の出水市音楽発表会でもこの曲を歌います。今回の授業で工夫したことや考えたことを学校全体で共有し、大川内中学校の表現力を生かした合唱に仕上がるといいです。



調理実習

27日に、1年生が家庭科の調理実習を行い、担任の先生も参加して、しょうが焼き定食を完成させました。自立に向けて、貴重な学習です。また、なかなかの美味でした。



3年道徳の授業

～ 未来に向けて、私たちにはどんな「力」や「考え方」が必要か ～



2030年。どんな未来が待ち受けているだろうか？2030年には、人口が約1000万人減少し、65歳以上の高齢者が人口の3分の1になると言われています。また、今ある職業の50%は無くなるかも。

最近のニュースで、人工知能ロボットが将棋の名人に完勝したと報じられましたが、こういったAI（Artificial Intelligence:人工知能）の普及・進化もこれからどんどん進んでいくでしょう。未来はどうなっていくのか予想が付きません。「TSUTAYA」の社長であり、Tカードを世に広めた日本の実業家である増田宗昭氏は、「過去の延長線上に未来はない」と語っています。確かにその通り、時代とともに社会は変化していくのです。

そこで、3年生が『未来に向けて、私たちにはどんな「力」や「考え方」が必要か。』と

ということについて道徳の時間に話し合いました。それぞれがいろいろな意見を出して、とてもおもしろかったです。未来に向けてどんな力を身に付けていくのか、未来は私たちに何を求めているのか。変わりゆく時代の中で変えていくべきもの、変わってはいけないものといった「不易流行」を改めて考える機会となりました。

生徒の感想

どんな未来になるか分からないからこそ、どうすればより良くなるかなどを考えて追求する必要があるんじゃないかなと思いました。どの力も大切だと思うけど、自分にしかできないことや人の温かみなどを大切にしていけるといいんじゃないかと思います。その場や状況にすばやく対応し、周りから必要とされる人が活躍できると思うのでそういう人になれるように意識したいです。



CSとして→学級弁論大会

30日、学校運営協議会の方々を審査員にお迎えして、学級弁論大会を実施しました。各学年のテーマは、

- 1年「これまでの体験から学んだこと」
- 2年「大川内地区の一員として、中学生の果たすべき役割」
- 3年「これからの人生で大切にしていきたいこと、社会的責任」 でした。

学校運営協議会の方々に講評をいただくとともに、大川内地区の未来のために中学生に期待することを熱くお話ししてくださいました。世代を超えた熟議が21世紀には特に大切になってくると思います。こんな弁論大会ができるのも、コミュニティ・スクールの力です。

